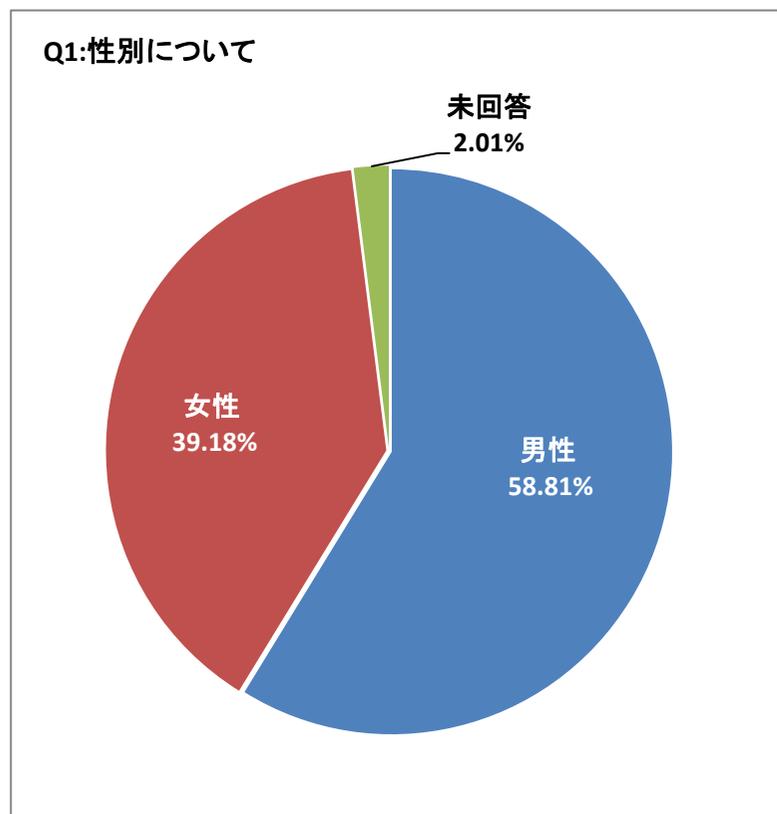


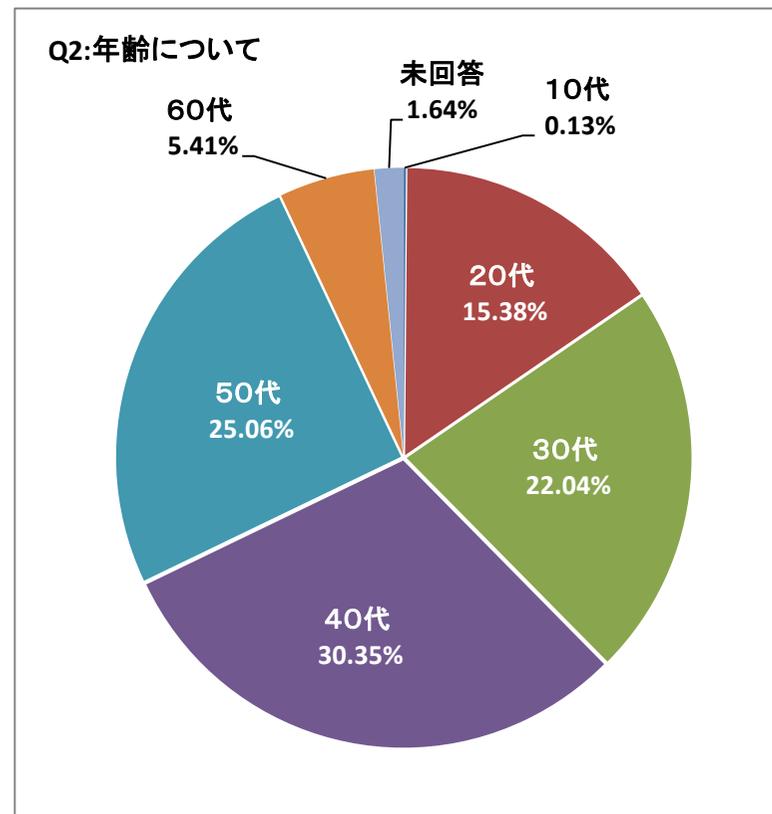
# 平成28年度 職員「コミュニティと協働」意識調査 集計結果

- 対象者数 : 3, 399人
- 有効回答者数 : 3, 180人
  - 庁内ネットワークによる回答 2, 667人
  - 書面による回答 513人
- 回答率 : 93. 6%

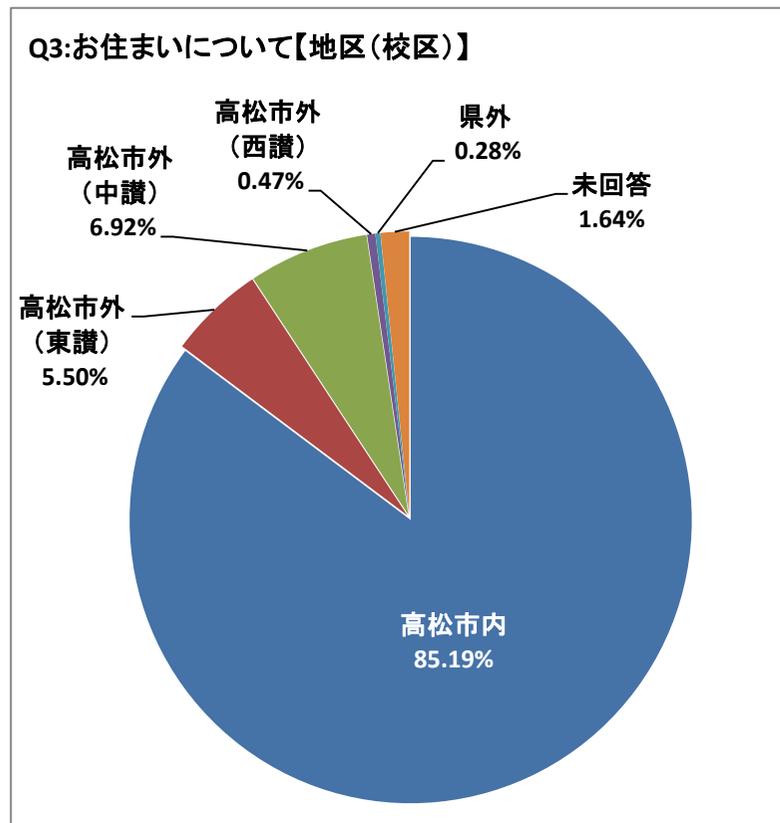
Q1:性別について		
	集計	割合
男性	1,870	58.81%
女性	1,246	39.18%
未回答	64	2.01%
総計	3,180	100.00%



Q2:年齢について		
	集計	割合
10代	4	0.13%
20代	489	15.38%
30代	701	22.04%
40代	965	30.35%
50代	797	25.06%
60代	172	5.41%
未回答	52	1.64%
総計	3,180	100.00%

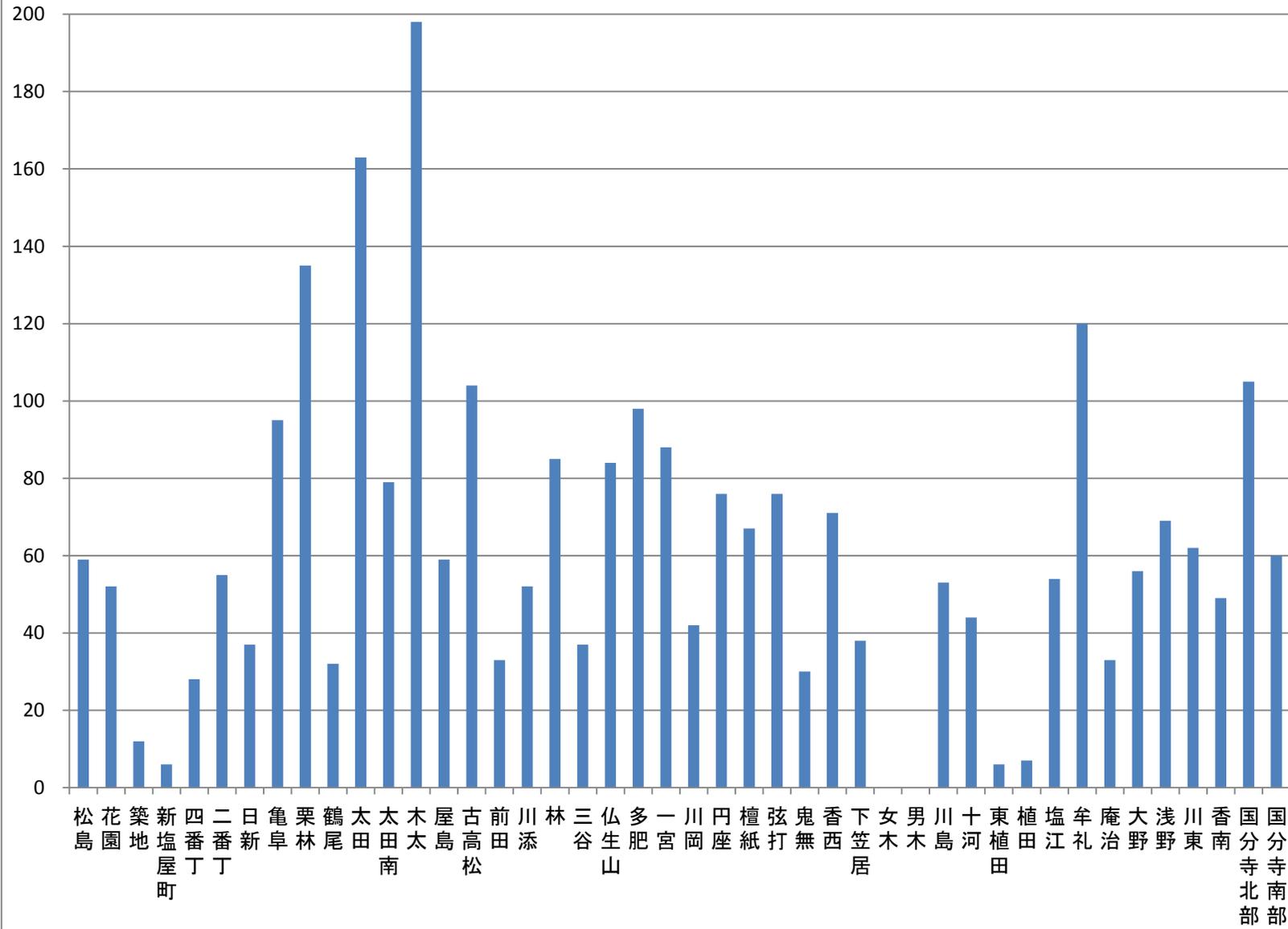


Q3:お住まいについて【地区(校区)】		
	集計	割合
高松市内	2,709	85.19%
高松市外(東讃)	175	5.50%
高松市外(中讃)	220	6.92%
高松市外(西讃)	15	0.47%
県外	9	0.28%
未回答	52	1.64%
総計	3,180	100.00%

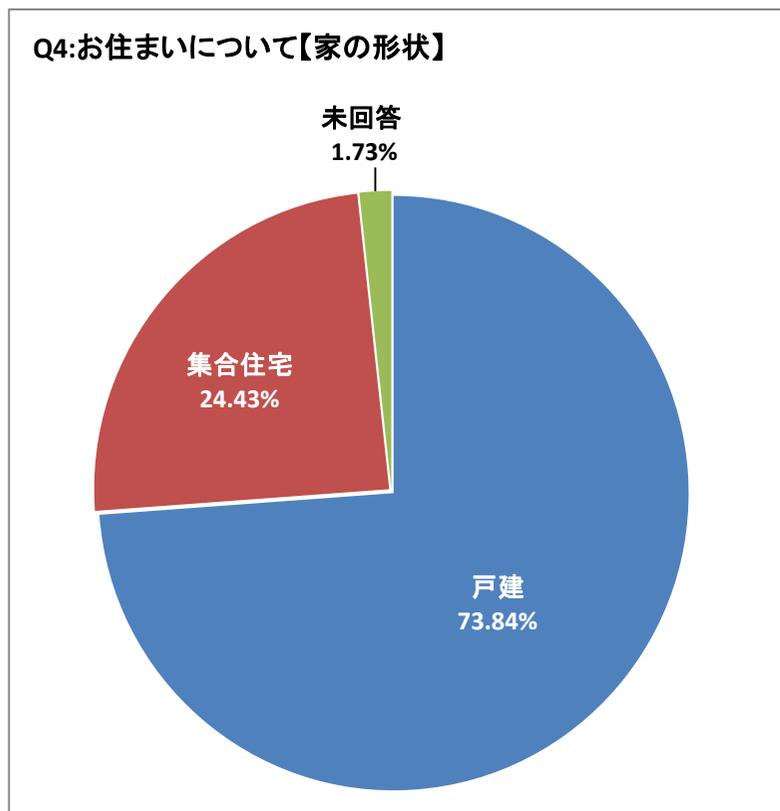


Q3:お住まいについて【地区(校区)】高松市内内訳		
	集計	割合
松島	59	2.18%
花園	52	1.92%
築地	12	0.44%
新塩屋町	6	0.22%
四番丁	28	1.03%
二番丁	55	2.03%
日新	37	1.37%
亀阜	95	3.51%
栗林	135	4.98%
鶴尾	32	1.18%
太田	163	6.02%
太田南	79	2.92%
木太	198	7.31%
屋島	59	2.18%
古高松	104	3.84%
前田	33	1.22%
川添	52	1.92%
林	85	3.14%
三谷	37	1.37%
仏生山	84	3.10%
多肥	98	3.62%
二宮	88	3.25%
川岡	42	1.55%
円座	76	2.81%
檀紙	67	2.47%
弦打	76	2.81%
鬼無	30	1.11%
香西	71	2.62%
下笠居	38	1.40%
女木	0	0.00%
男木	0	0.00%
川島	53	1.96%
十河	44	1.62%
東植田	6	0.22%
植田	7	0.26%
塩江	54	1.99%
牟礼	120	4.43%
庵治	33	1.22%
大野	56	2.07%
浅野	69	2.55%
川東	62	2.29%
香南	49	1.81%
国分寺北部	105	3.88%
国分寺南部	60	2.21%
	2,709	100.00%

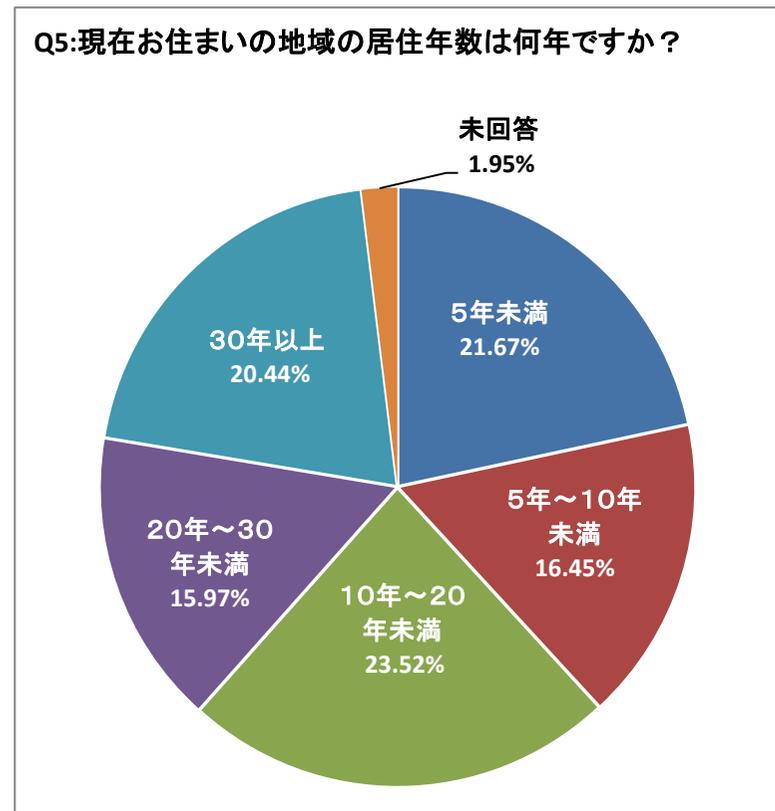
Q3:お住まいについて【地区(校区)】 「高松市内」内訳



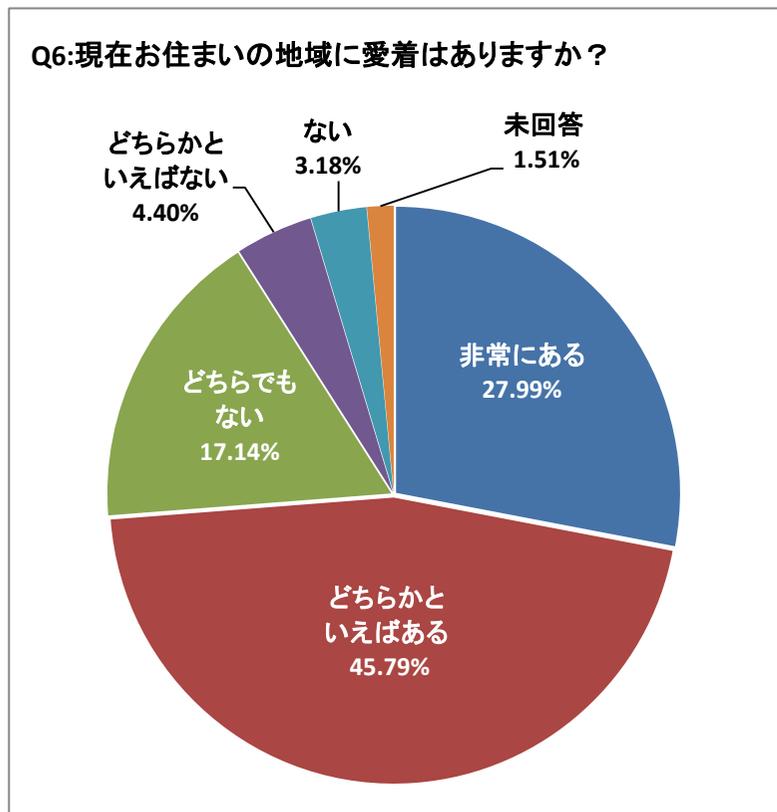
Q4:お住まいについて【家の形状】		
	集計	割合
戸建	2,348	73.84%
集合住宅	777	24.43%
未回答	55	1.73%
総計	3,180	100.00%



Q5:現在お住まいの地域の居住年数は何年ですか？		
	集計	割合
5年未満	689	21.67%
5年～10年未満	523	16.45%
10年～20年未満	748	23.52%
20年～30年未満	508	15.97%
30年以上	650	20.44%
未回答	62	1.95%

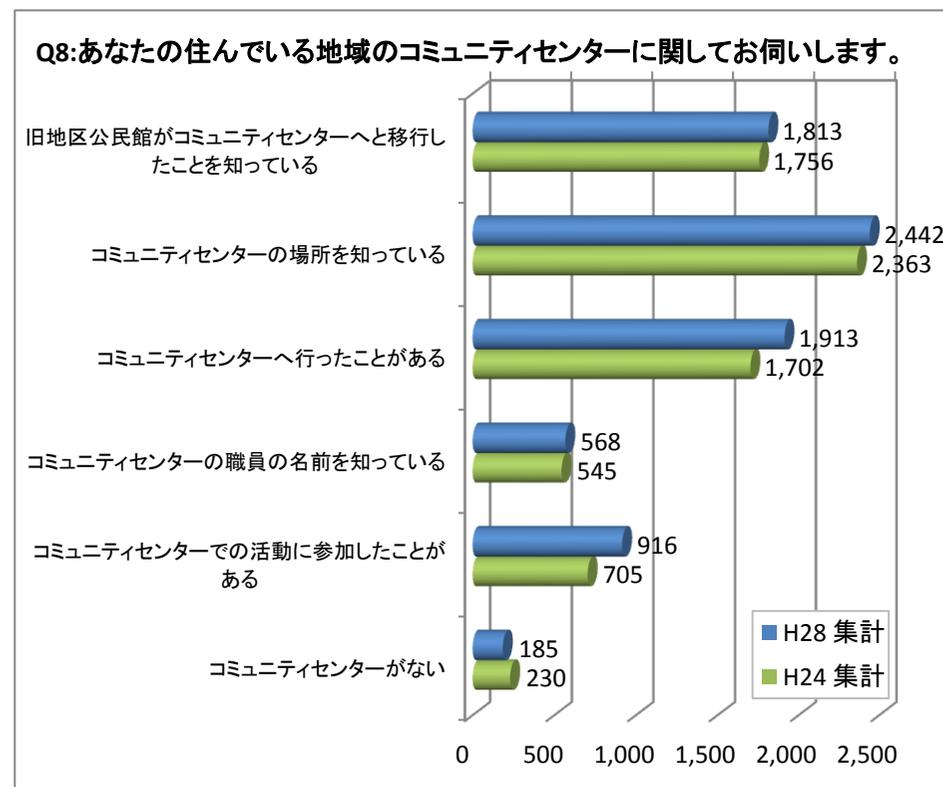
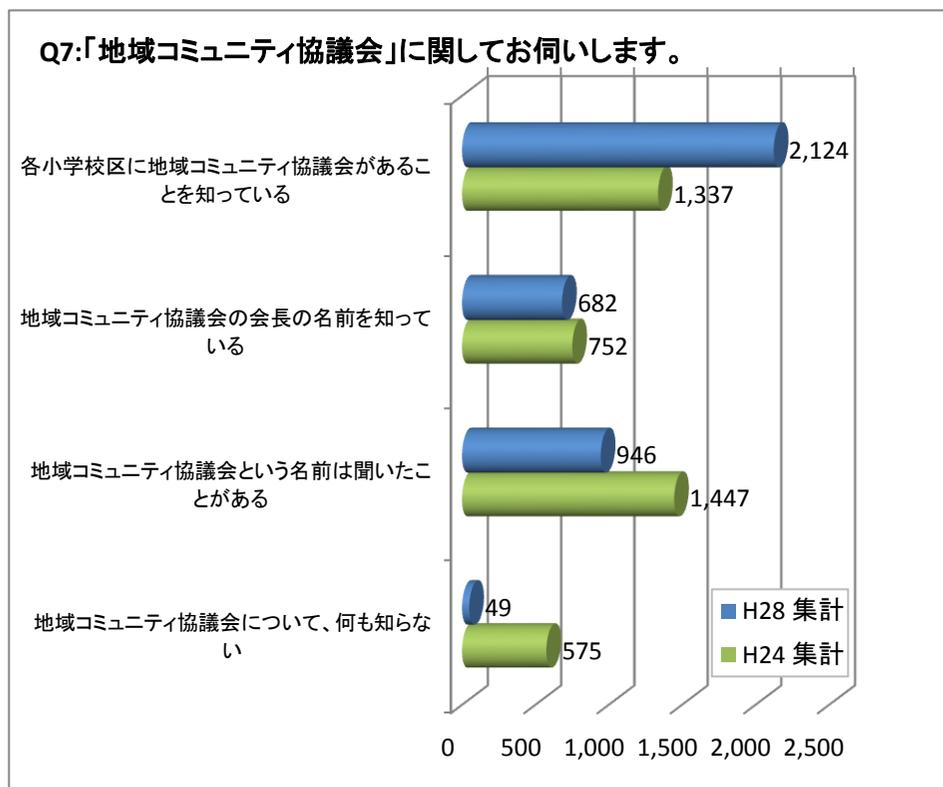


Q6:現在お住まいの地域に愛着はありますか？		
	集計	割合
非常にある	890	27.99%
どちらかといえばある	1,456	45.79%
どちらでもない	545	17.14%
どちらかといえはない	140	4.40%
ない	101	3.18%
未回答	48	1.51%
総計	3,180	100.00%



Q7:「地域コミュニティ協議会」についてお伺いします。(複数選択可)				
	H28		H24	
	集計	順位	集計	順位
各小学校区に地域コミュニティ協議会があることを知っている	2,124	1	1,337	2
地域コミュニティ協議会の会長の名前を知っている	682	3	752	3
地域コミュニティ協議会という名前は聞いたことがある	946	2	1,447	1
地域コミュニティ協議会について、何も知らない	49	4	575	4
総計	3,801		4,111	

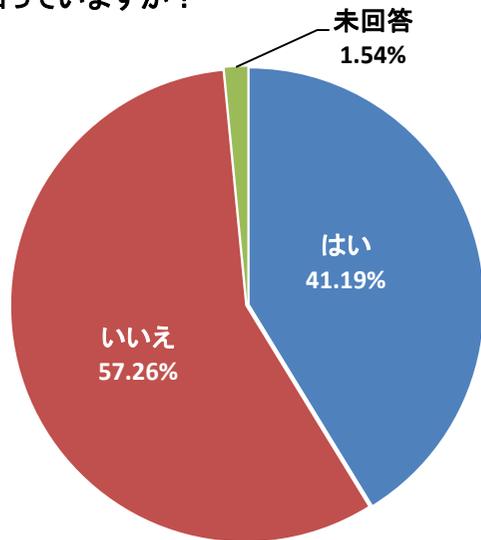
Q8:あなたの住んでいる地域のコミュニティセンターについてお伺いします。(複数選択可)				
	H28		H24	
	集計	順位	集計	順位
旧地区公民館がコミュニティセンターへと移行したことを知っている	1,813	3	1,756	2
コミュニティセンターの場所を知っている	2,442	1	2,363	1
コミュニティセンターへ行ったことがある	1,913	2	1,702	3
コミュニティセンターの職員の名前を知っている	568	5	545	6
コミュニティセンターでの活動に参加したことがある	916	4	705	5
コミュニティセンターがない	185	6	230	4
総計	7,837		7,301	



Q9: 地域コミュニティ協議会等が主体的に行うまちづくり活動を支援するための「地域まちづくり交付金」制度を知っていますか？

	集計	割合
はい	1,310	41.19%
いいえ	1,821	57.26%
未回答	49	1.54%
総計	3,180	100.00%

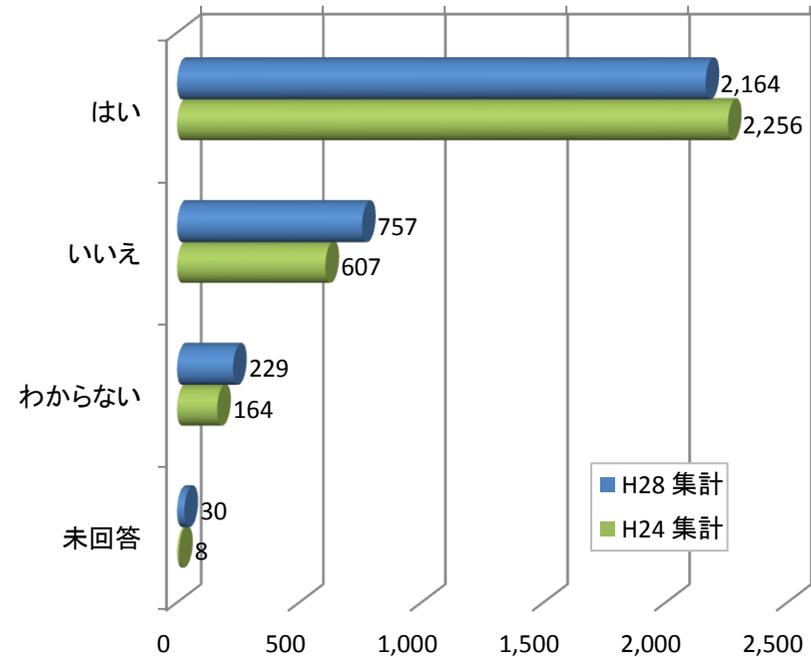
Q9: 地域コミュニティ協議会等が主体的に行うまちづくり活動を支援するための「地域まちづくり交付金」制度を知っていますか？



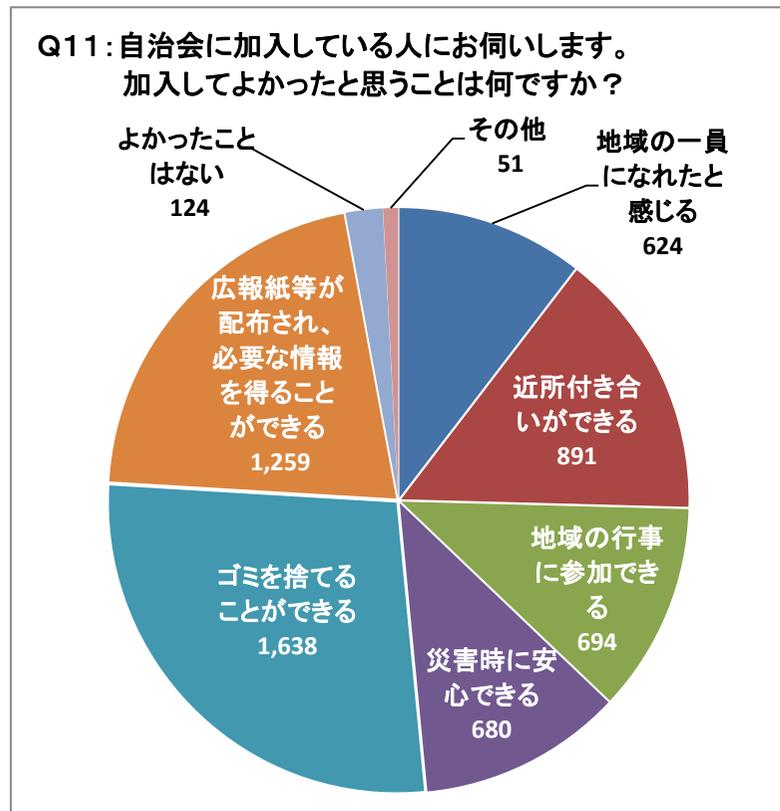
Q10: あなたの世帯は自治会に加入していますか？

	H28		H24	
	集計	割合	集計	割合
はい	2,164	68.05%	2,256	74.33%
いいえ	757	23.81%	607	20.00%
わからない	229	7.20%	164	5.40%
未回答	30	0.94%	8	0.26%
総計	3,180	100.00%	3,035	100.00%

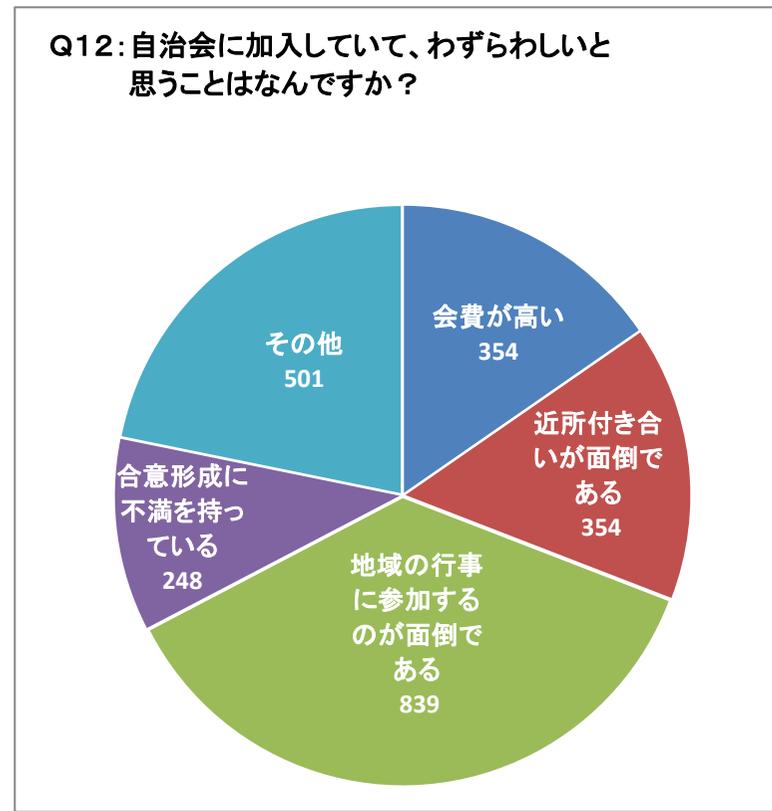
Q10: あなたの世帯は自治会に加入していますか？



Q11:自治会に加入している人にお伺いします。 加入してよかったと思うことは何ですか？		
	集計	順位
地域の一員になれたと感じる	624	6
近所付き合いができる	891	3
地域の行事に参加できる	694	4
災害時に安心できる	680	5
ゴミを捨てることができる	1,638	1
広報紙等が配布され、必要な情報を得ることができる	1,259	2
よかったことはない	124	7
その他	51	8
総計	5,961	

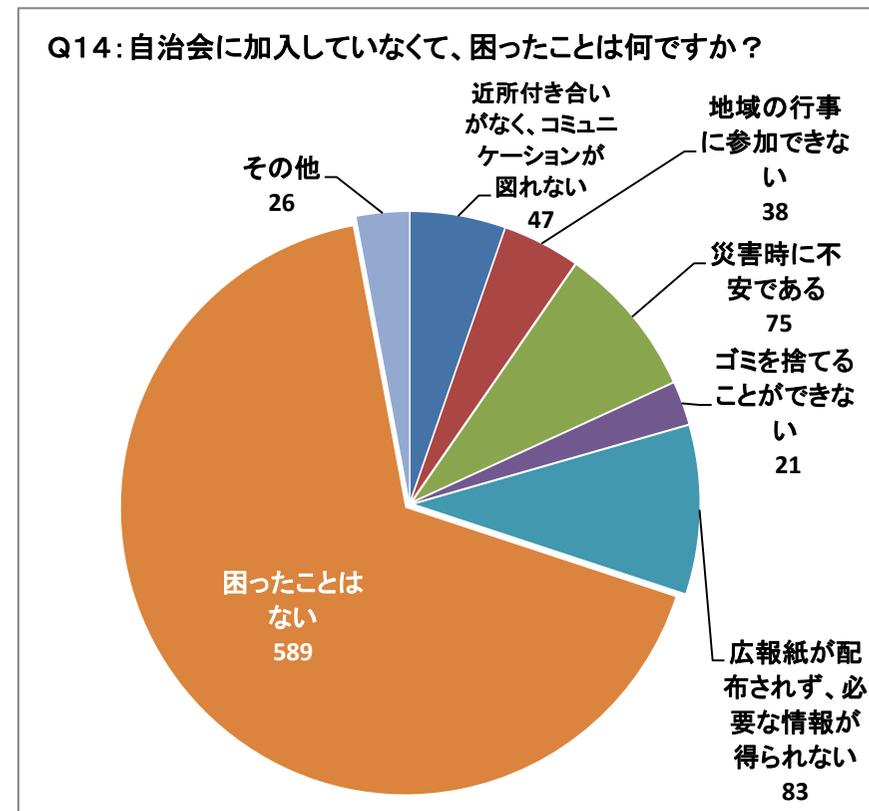
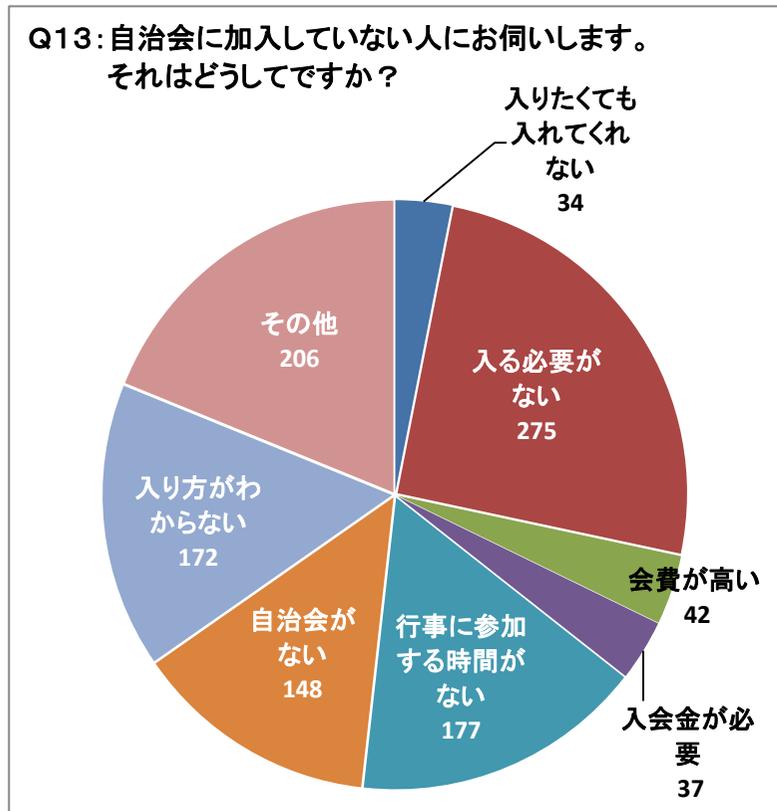


Q12:自治会に加入していて、わずらわしいと思うことは何ですか？		
	集計	順位
会費が高い	354	3
近所付き合いが面倒である	354	3
地域の行事に参加するのが面倒である	839	1
合意形成に不満を持っている	248	5
その他	501	2
総計	2,296	

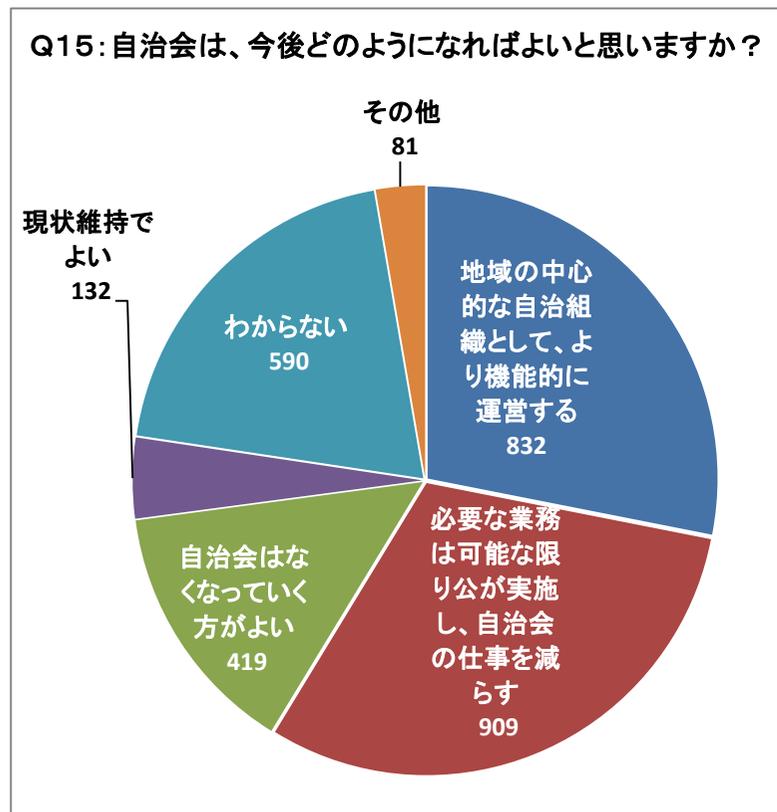


Q13:自治会に加入していない人にお伺いします。 それはどうしてですか？		
	集計	順位
入りたくても入れてくれない	34	8
入る必要がない	275	1
会費が高い	42	6
入会金が必要	37	7
行事に参加する時間がない	177	3
自治会がない	148	5
入り方がわからない	172	4
その他	206	2
総計	1,091	

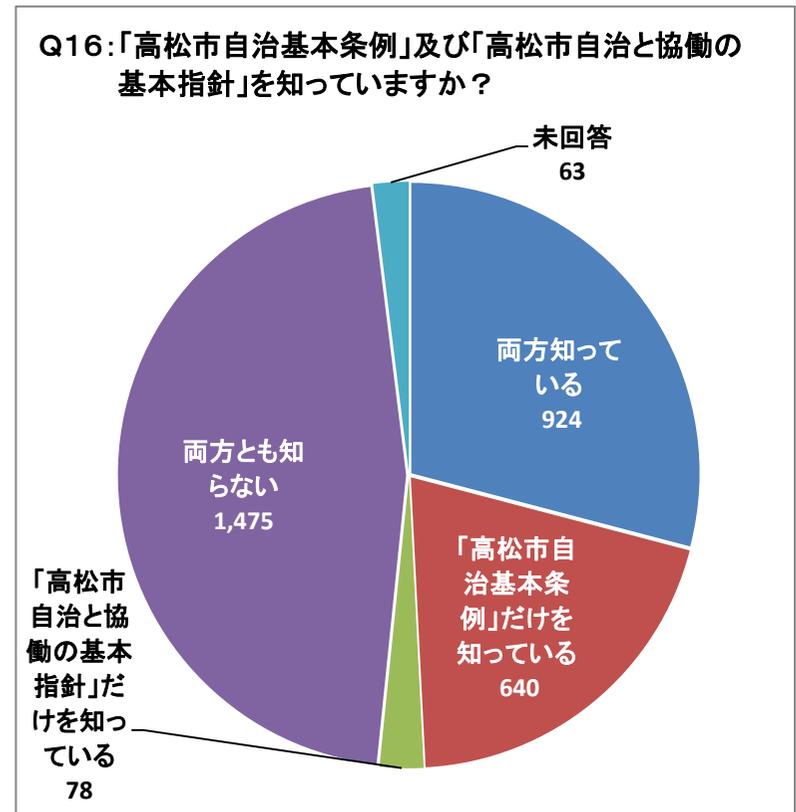
Q14:自治会に加入してなくて、困ったことは何ですか？		
	集計	順位
近所付き合いがなく、コミュニケーションが図れない	47	4
地域の行事に参加できない	38	5
災害時に不安である	75	3
ゴミを捨てることができない	21	7
広報紙が配布されず、必要な情報が得られない	83	2
困ったことはない	589	1
その他	26	6
総計	879	



Q15:自治会は、今後どのようになればよいと思いますか？		
	集計	順位
地域の中心的な自治組織として、より機能的に運営する	832	2
必要な業務は可能な限り公が実施し、自治会の仕事を減らす	909	1
自治会はなくなっていく方がよい	419	4
現状維持でよい	132	5
わからない	590	3
その他	81	6
総計	2,963	

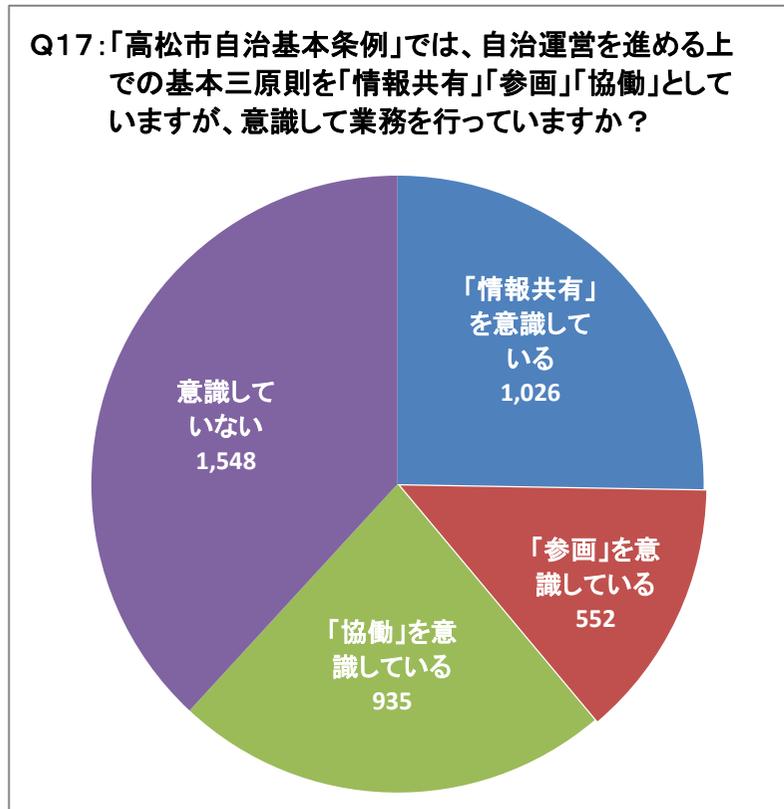


Q16:「高松市自治基本条例」及び「高松市自治と協働の基本指針」を知っていますか？		
	集計	割合
両方知っている	924	29.06%
「高松市自治基本条例」だけ知っている	640	20.13%
「高松市自治と協働の基本指針」だけ知っている	78	2.45%
両方とも知らない	1,475	46.38%
未回答	63	1.98%
総計	3,180	100.00%



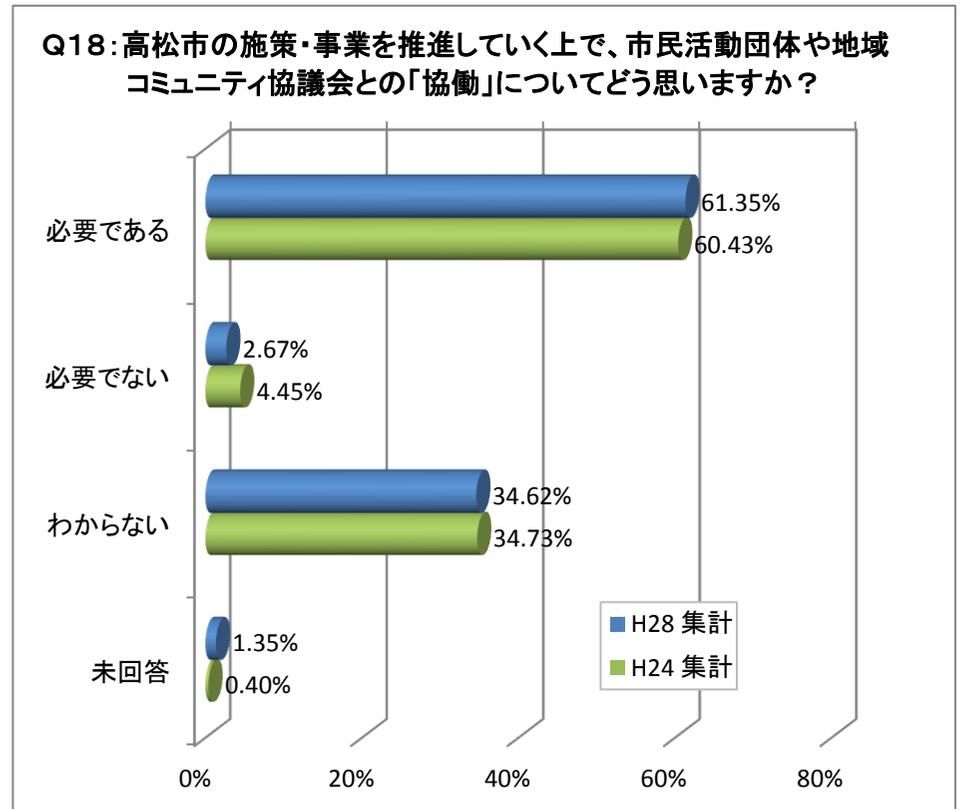
**Q17:「高松市自治基本条例」では、自治運営を進める上での基本三原則を「情報共有」「参画」「協働」としてありますが、意識して業務を行っていますか？**

	集計	順位
「情報共有」を意識している	1,026	2
「参画」を意識している	552	4
「協働」を意識している	935	3
意識していない	1,548	1
総計	4,061	



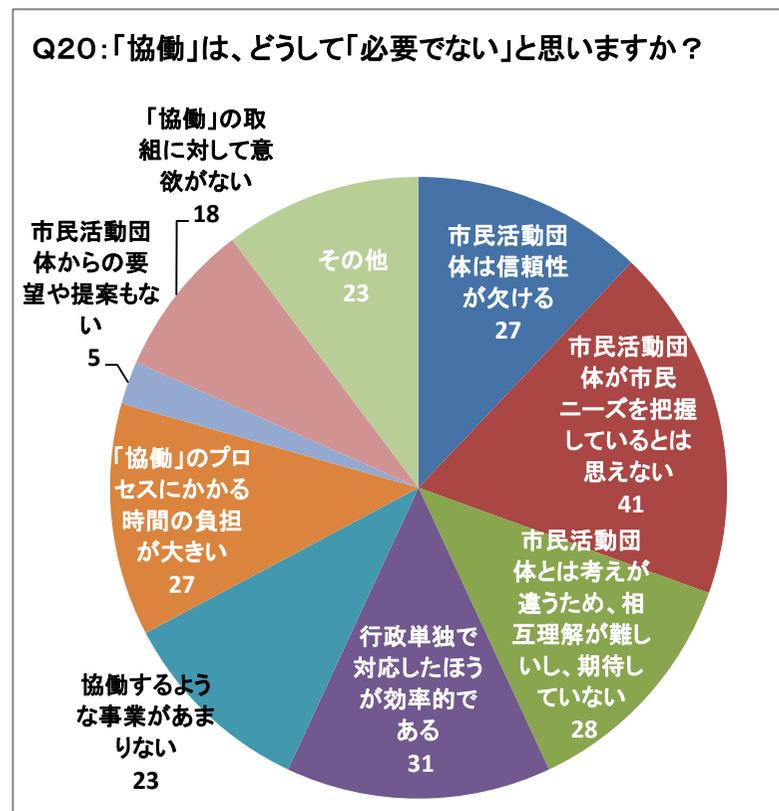
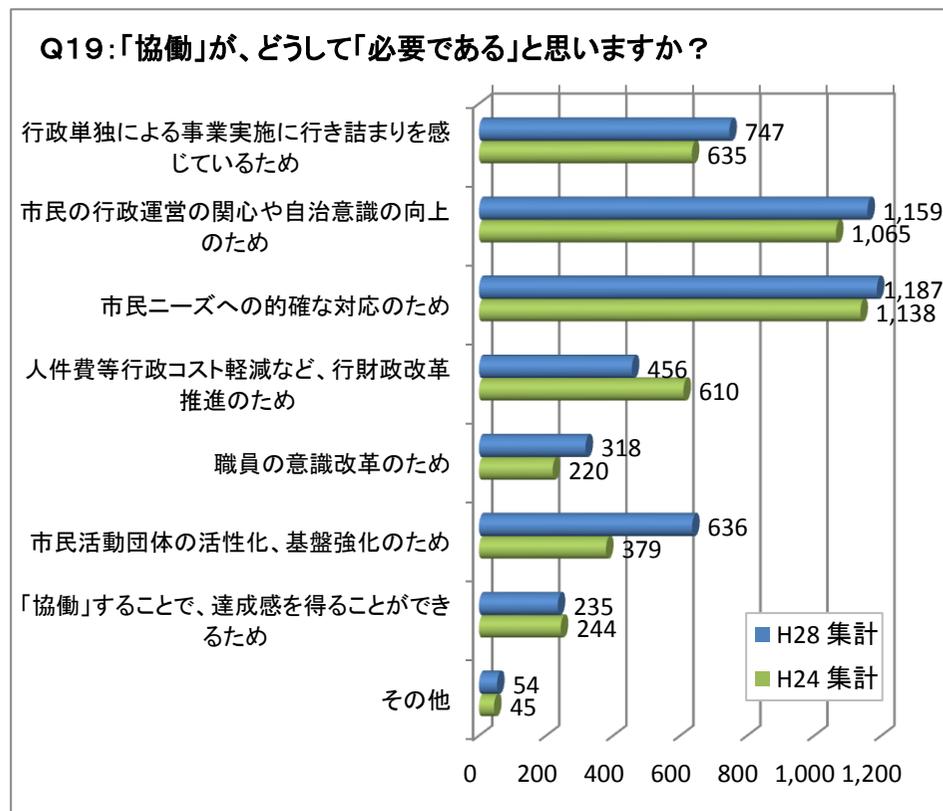
**Q18:高松市の施策・事業を推進していく上で、市民活動団体や地域コミュニティ協議会との「協働」についてどう思いますか？**

	H28		H24	
	集計	割合	集計	割合
必要である	1,951	61.35%	1,834	60.43%
必要でない	85	2.67%	135	4.45%
わからない	1,101	34.62%	1,054	34.73%
未回答	43	1.35%	12	0.40%
総計	3,180	100.00%	3,035	100.00%

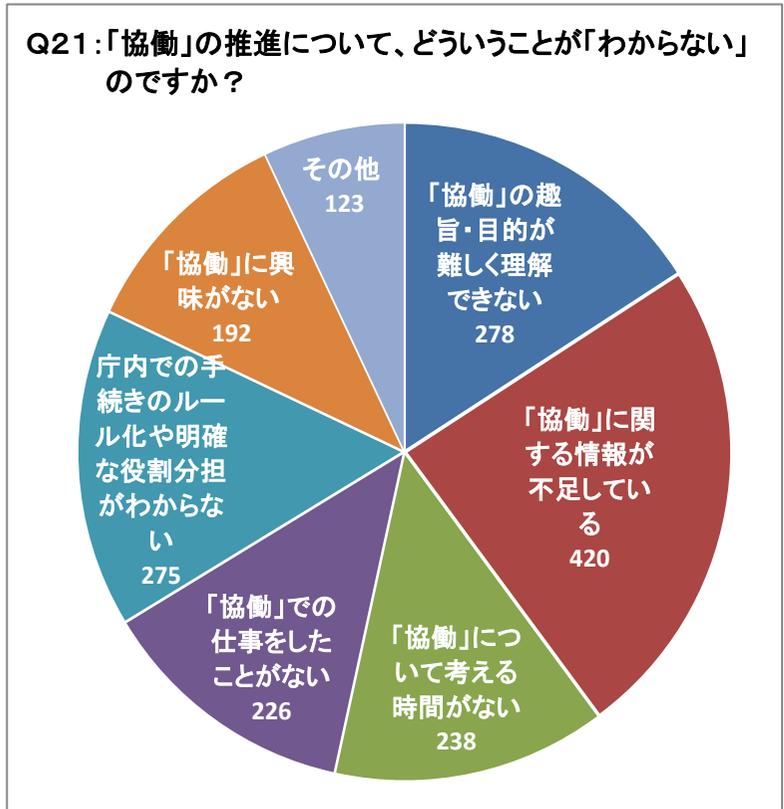


	H28		H24	
	集計	順位	集計	順位
行政単独による事業実施に行き詰まりを感じているため	747	3	635	3
市民の行政運営の関心や自治意識の向上のため	1,159	2	1,065	2
市民ニーズへの的確な対応のため	1,187	1	1,138	1
人件費等行政コスト軽減など、行財政改革推進のため	456	5	610	4
職員の意識改革のため	318	6	220	7
市民活動団体の活性化、基盤強化のため	636	4	379	5
「協働」することで、達成感を得ることができるため	235	7	244	6
その他	54	8	45	8
総計	4,792		4,336	

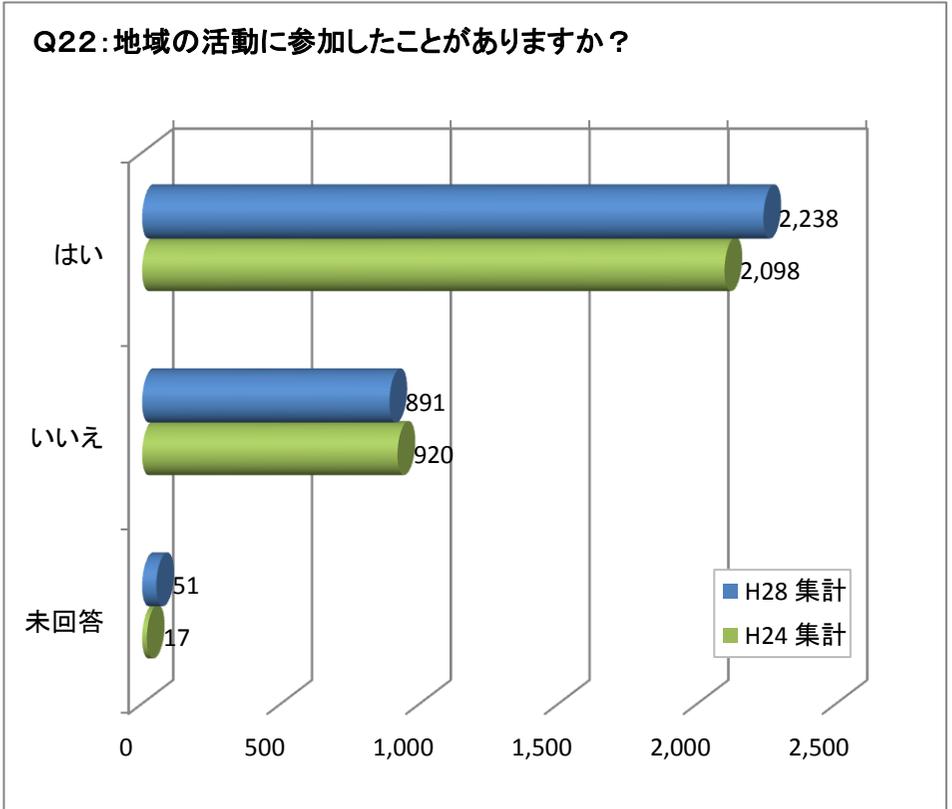
	集計	順位
市民活動団体が市民ニーズを把握しているとは思えない	41	1
市民活動団体とは考えが違いため、相互理解が難しい	28	3
行政単独で対応したほうが効率的である	31	2
協働するような事業があまりない	23	6
「協働」のプロセスにかかる時間の負担が大きい	27	4
市民活動団体からの要望や提案もない	5	9
「協働」の取組に対して意欲がない	18	8
その他	23	6
総計	223	



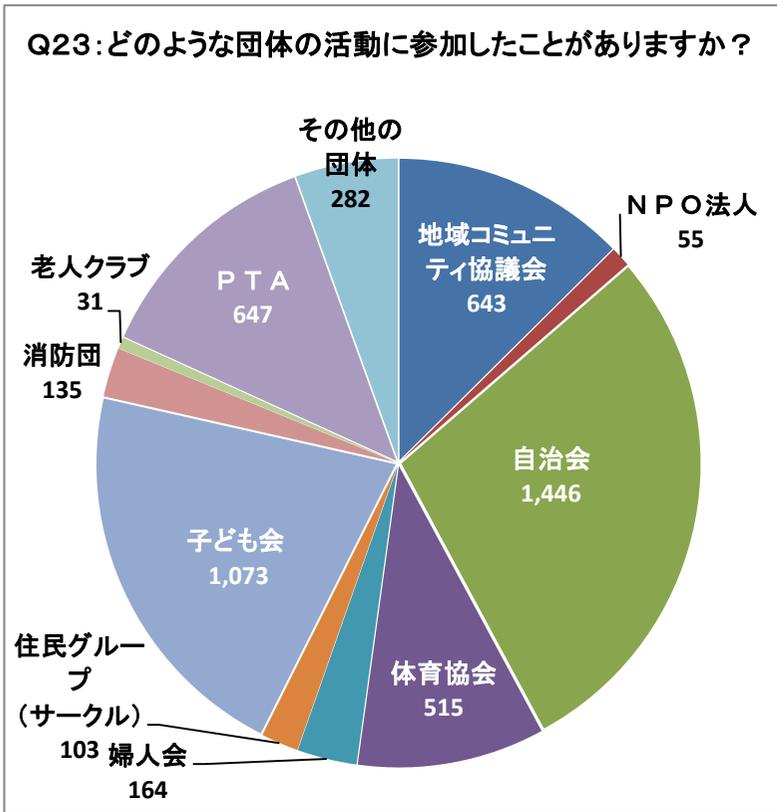
Q21:「協働」の推進について、どういことが「わからない」のですか？		
	集計	順位
「協働」の趣旨・目的が難しく理解できない	278	2
「協働」に関する情報が不足している	420	1
「協働」について考える時間がない	238	4
「協働」での仕事をしたことがない	226	5
庁内での手続きのルール化や明確な役割分担がわからない	275	3
「協働」に興味がない	192	6
その他	123	7
総計	1,752	



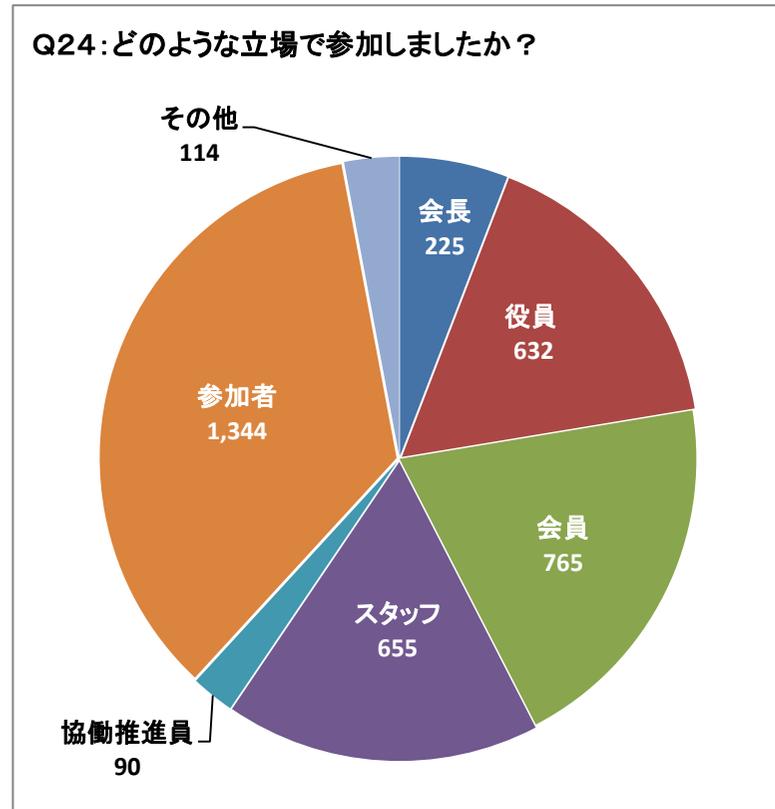
Q22: 地域の活動に参加したことがありますか？				
	H28		H24	
	集計	割合	集計	割合
はい	2,238	70.38%	2,098	69.13%
いいえ	891	28.02%	920	30.31%
未回答	51	1.60%	17	0.56%
総計	3,180	100.00%	3,035	100.00%



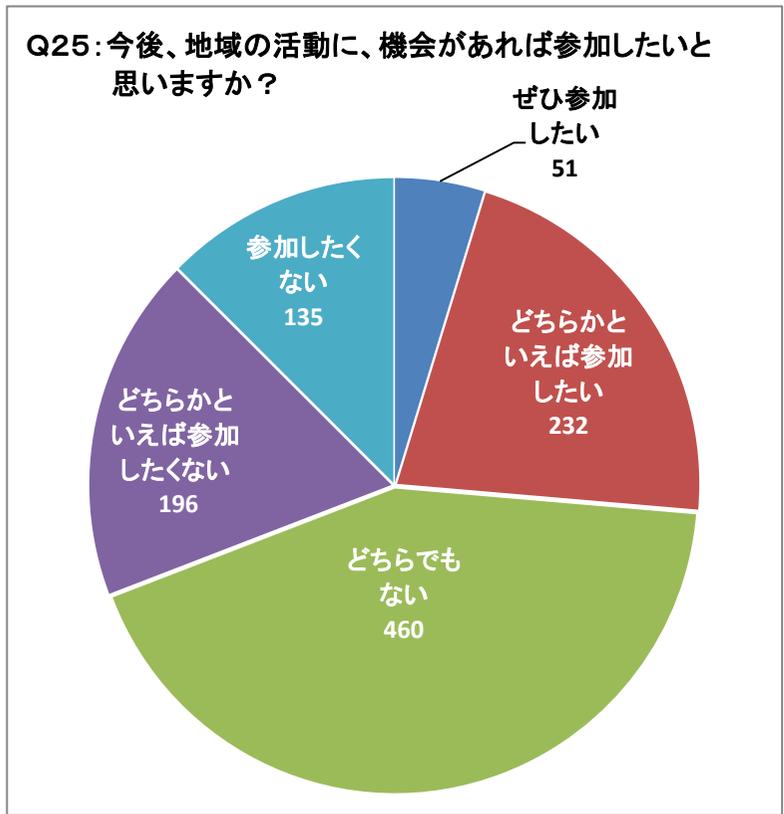
Q23:どのような団体の活動に参加したことがありますか？		
	集計	順位
地域コミュニティ協議会	643	4
NPO法人	55	10
自治会	1,446	1
体育協会	515	5
婦人会	164	7
住民グループ(サークル)	103	9
子ども会	1,073	2
消防団	135	8
老人クラブ	31	11
PTA	647	3
その他の団体	282	6
総計	5,094	



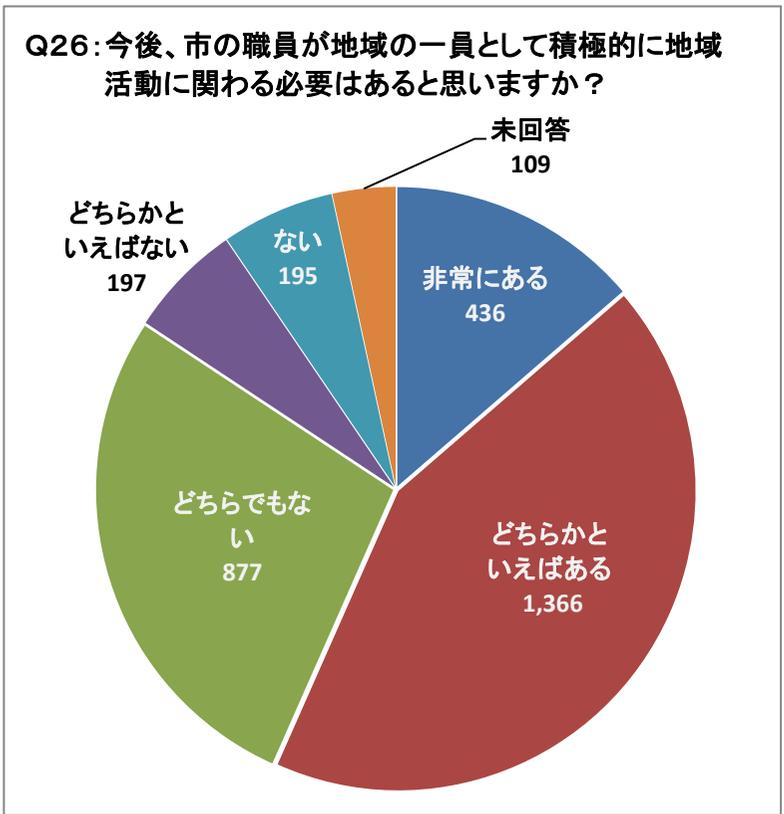
Q24:どのような立場で参加しましたか？		
	集計	順位
会長	225	5
役員	632	4
会員	765	2
スタッフ	655	3
協働推進員	90	7
参加者	1,344	1
その他	114	6
総計	3,825	



Q25: 今後、地域の活動に、機会があれば参加したいと思いますか？		
	集計	順位
ぜひ参加したい	51	5
どちらかといえば参加したい	232	2
どちらでもない	460	1
どちらかといえば参加したくない	196	3
参加したくない	135	4
総計	1,074	



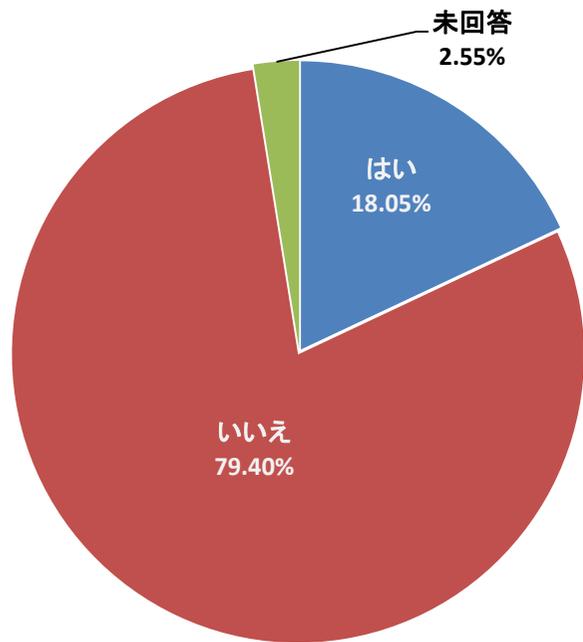
Q26: 今後、市の職員が地域の一員として積極的に地域活動に関わる必要はあると思いますか？		
	集計	割合
非常にある	436	13.71%
どちらかといえばある	1,366	42.96%
どちらでもない	877	27.58%
どちらかといえばない	197	6.19%
ない	195	6.13%
未回答	109	3.43%
総計	3,180	100.00%



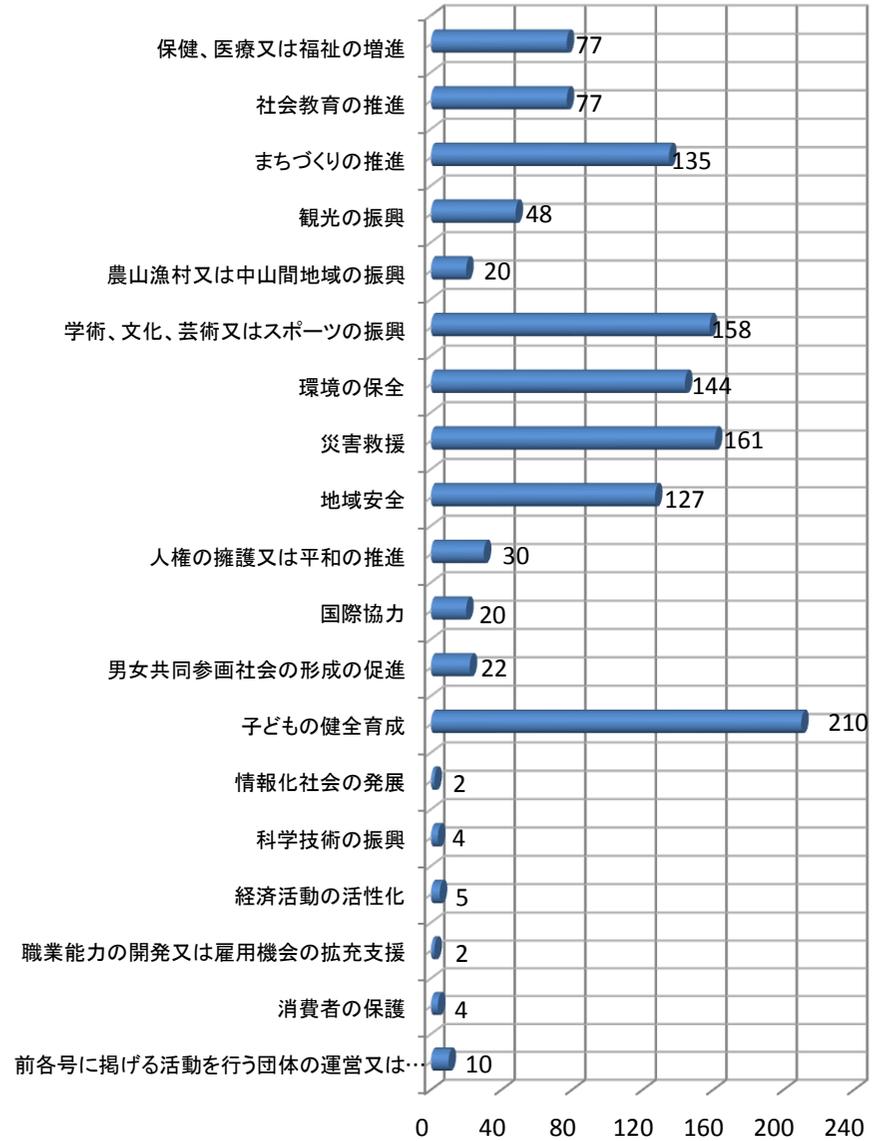
Q27:市民活動団体の活動に参加したことはありますか？

	集計	割合
はい	574	18.05%
いいえ	2,525	79.40%
未回答	81	2.55%
総計	3,180	100.00%

Q27:市民活動団体の活動に参加したことはありますか？

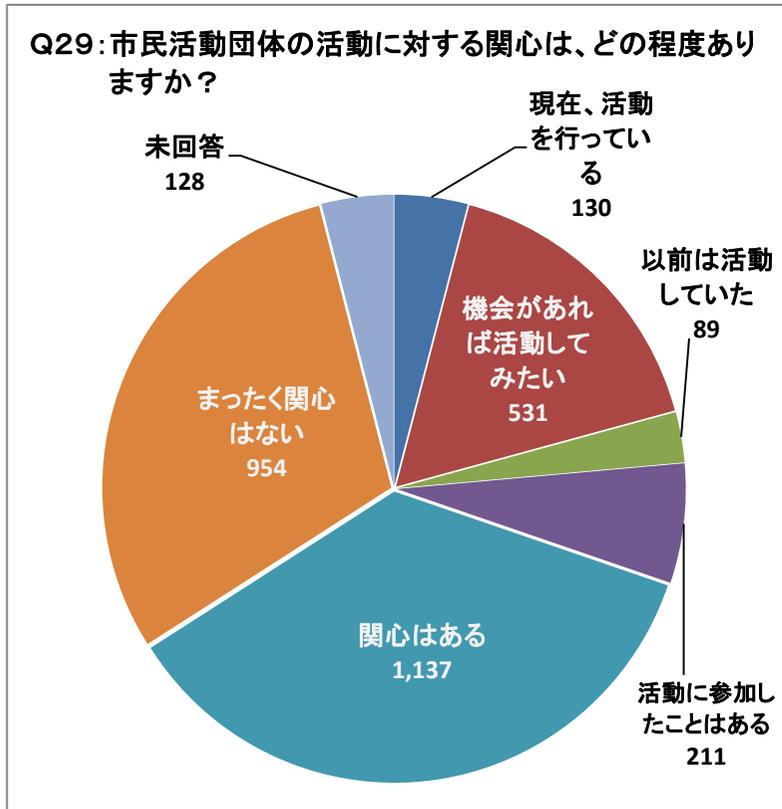


Q28:どんな分野に該当する市民活動団体の活動に参加したことがありますか？



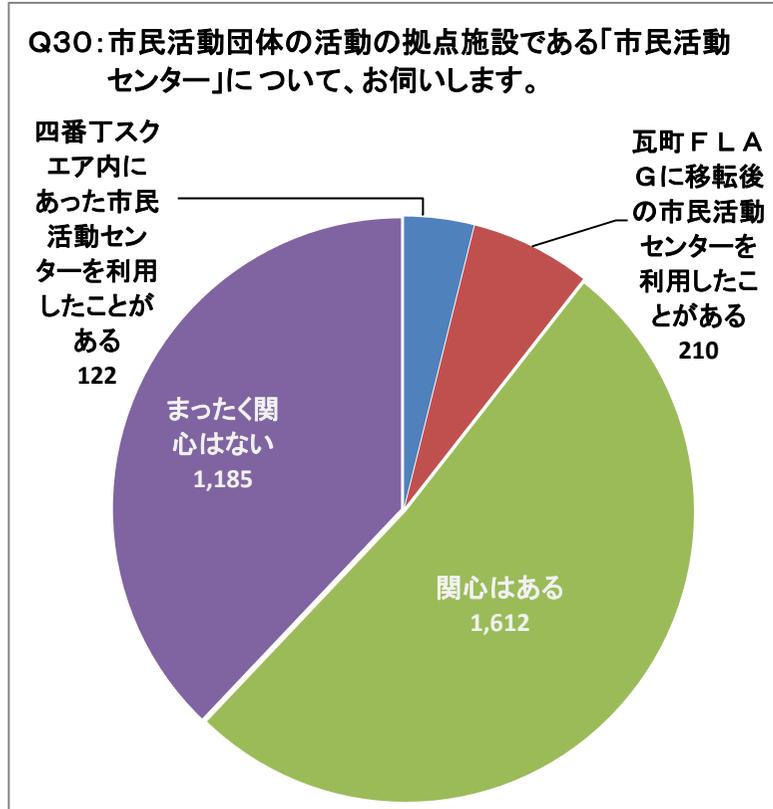
**Q29: 市民活動団体の活動に対する関心は、どの程度ありますか？**

	集計	割合
現在、活動を行っている	130	4.09%
機会があれば活動してみたい	531	16.70%
以前は活動していた	89	2.80%
活動に参加したことはある	211	6.64%
関心はある	1,137	35.75%
まったく関心はない	954	30.00%
未回答	128	4.03%
総計	3,180	100.00%



**Q30: 市民活動団体の活動の拠点施設である「市民活動センター」について、お伺いします。**

	集計	順位
四番丁スクエア内にあった市民活動センターを利用したことがある	122	4
瓦町FLAGに移転後の市民活動センターを利用したことがある	210	3
関心はある	1,612	1
まったく関心はない	1,185	2
総計	3,129	



## 問31 自由意見（375件）

### 主な自由意見

#### <地域自治組織のあり方について>

コミュニティ協議会及び連合自治会の担っている社会的役割の重要性は理解しているが、自治会に入らなくても日常生活に支障がないのであれば、その存在意義は揺らいでしまう。各役員等の方々のご苦勞も知っているだけに、もったいないという気持ちがある反面、（存在意義が明確になれば）自分が役員となって盛り上げていこうという気持ちにもなれない葛藤がある。

マンションに居住している自身や周囲の感覚として、管理組合が機能していれば特段の不自由はないので、別途費用を要することになる自治会の存在意義というものが見えにくい。一方で、地域活動の必要性や意義は浸透していると思われるので、自治会については、将来的には、地域コミュニティ協議会と一体化していくのがよいと思います。

マンション住まいの場合、地域外から転入してくる場合が多く、特に地域との関わりが薄い。管理組合や居住者同士のつながりができれば、自治会活動に似たようなこともできるように感じる。

マンション管理組合と自治会の連携が必要になってくるようにも思う。愛着のある地域であれば、その地域が少しでも良くなってほしいと思うので、地域活動をしていても楽しいし充実感がある。

加入戸数が少ない単位自治会では、役割（自治会独自、行政からの依頼）当番がこなせない事情を抱えた家庭もあり、配慮が必要。

私の住んでいるマンションには自治会がなく、管理組合がその役割を果たしている。管理組合にはきちんとした規約があり、規約には、管理組合の役割りと、住民が果たす義務が明記されており、プロである管理会社が間に入っていることもあり、不自由なく生活している。

一方、自治会にも規約はあると思うが、義務を果たさない者への対応や、一部の有力者の声が反映されやすい等、現代社会に対応できていない部分が散見される。これだけ市民生活が多様化している現在において、全員がある程度納得して自治会に参加するためには、法的措置にも耐え得る明文化された規約が必要なのかもしれない。

自治会では年配と若年の温度差があるが、自分たちの視点だけで物事を判断せず、お互いの考えに理解を示すように働きかけたい。

コミ協は広報誌とともにお知らせが届くが、自分の自治会では、年に2回（総会結果・夏祭り）お知らせがポスティングされる程度で、活動が見えにくい。

会計の透明性を確保するとともに、事業内容の情報発信を積極的にすることが必要だと思う。

どのような形であっても、地域での活動はどうしても一部の人だけに大きな負担がかかってしまいがちである。もっと広く浅く活動に参加するような仕掛けや仕組みをつくらないと、ますます自治会離れが進行してしまうのではないかと思う。

市の職員としても地域の一員としても、協働については関心はあるが、どこでどのような活動をしているのか情報が少ない。自治会についても、会費が何に使われているかを一会員が知る機会は少ない。情報の少なさは閉鎖的なイメージを持たせてしまうので、そこを改善していく必要がある。

寺の掃除・修繕費の拠出など宗教的なものについて、代々その土地で生活している人が昔からの慣習により続けていくことについて、新しく入ってきた人達には受け入れ難い部分もあると思われる。

自治会については災害時の助け合いの観点から、日頃からある程度の連携が必要だと感じている。現在入居している賃貸マンションでは貸主が自治会に加入しており、災害マップや防犯グッズの提供などがあって、大変助かっている。

自治会に加入しているが、高い自治会費を払って清掃活動をし、ごみステーション当番をし、祭りの準備をし、神社の寄付金も払っている。加入していない人は何もなくて家の周りがきれいになり、ごみも勝手に捨てている。何となく損をしている気分になるので、思い切って自治会加入を義務にしているかどうか。

自治会に加入しなければ、ごみを捨てることができないというのは、改めなければならないと思う。  
自治会加入は強制ではなく個人の意思を尊重すべきであり、ゴミステーションの利用とは分けて考える必要がある。  
ある場所のゴミステーションを自治会が設置しているのであれば、何らかの負担の下、未加入者にも使用させるような包容力が、自治会側にも必要なのではないか。  
古い時代の「自治会」の認識を改め、時代背景に則した体制・活動内容へと変革していかなければ、市民の不満ばかりが募っていき破綻してしまうのではないか。

冠婚葬祭時や災害時などに声をかけ合える関係は維持しながらも、(特に若い人が)負担になるような活動は減らすなり内容を考えるなりしていかないと、自治会に入会する人はどんどん少なくなるのでは、という思いがある。

農村地域に存在する歴史的・自然発生的自治会と、振興住宅地等で行政主導で設立された自治会とを同列に評価することは困難。

コミュニティ活動に対して、消極的になっている市民のニーズを汲み取っていかなければならない。

市役所と各団体間の協力内容、活動内容等が一般市民には全く見えてこない。その点を工夫すれば、もっと関心を持ってもらえるのではないか。

住民が地域活動に参加することにより、地域の一員としての存在感や、地域への愛着が生まれ、充実した人生を送ることができると考えています。これからは、地域において地域の実情に応じ、自ら(地域コミュニティや自治会)が工夫しながら、住民が地域への誇りを持てるような、地域の活動に参加したくなるような仕掛けづくりが必要なので、私も、地域の一員として、参加していきたいと思っています。

子どもの参加により、その保護者や家族の参加を促すことも多くの地域で盛んであるが、当の子どもの減少もあり、地域の保育所・幼稚園・学校などの子どもや職員の多忙感につながっている現状がある。

地域コミュニティ協議会についていえば、携わるリーダーの考え方や力の入れようで活動や組織の充実度が変わってくると思う。自身が居住している地区では、他地区と比較して充実していると感じるが、リーダー、役員等は順次改選していくし、継続的な充実・リーダーの育成は難しいと思うので、地域みんなの総力でよくしないといけないと思っている。

父が地元の体育協会の会長をしており、活動については普段から身近に感じている。活動することは地域の人同士をつなぐ大切な役割だと思う反面、様々な人の意見や地域外からの転入者の意見をすり合わせることに限界もあると思うので、難しい部分もたくさんあると思う。今の時代にあった、活動内容の模索がどの分野にも必要になってくると思う。

## <行政の支援について>

自治会に入っていて大変だと思うのは、役員(班長や会長、副会長、会計など)が定期的にあたることであり、高齢者の独り暮らし世帯などは、世話役になって活動することが困難であるということで脱会したり、肩身の狭い思いをすることになることも問題の一つだと思います。  
そういう細かなところを自治会任せにするのではなく、役員のことや、会費の徴収に関することをある程度ケアしていただける仕組みがあれば、自治会がともに助け合う組織になっていくと思います。

自治会が衰退した原因を解決しなければ、加入率と納得性は上がらないと思う。
年齢、経済・家族状況が多様である現在、自治会活動は会員のニーズに対応しきれていない。市を挙げて自治会への加入促進を勧めるのであれば、問題がみられる自治会活動に対して、何らかの指導又は助言も必要ではないか。
自治会の在り方については、社会情勢が移り変わってきている中で、行政として、コミ協の存在も踏まえながら、将来を見据え、なぜ自治会組織がないと困るのか、自治会にどのような役割を求めるとかなど、住民目線できちんと整理した上で対策を検討すべきと思う。
地域コミュニティの推進も重要であると思うが、コミュニティが希薄化していった前提での状況も考慮して政策形成していく必要もあると思う。
普段の生活に支障がない程度に行政が機能していれば、それ以外の活動については市民が必要であれば自ら団体を結成して、行政はそのサポートとしてアドバイスや場所の提供を行うぐらいでよいと思う。

### <協働について>

協働推進員の充実も必要ではあるが、個々の職員が率先して、地元協議会におけるまちづくりの方向性や、協議会運営等について、行政に携わる住民としてサポートする姿勢とともに具体的な行動が必要ではないか。市において、参画の制度的枠組みを構築すべきである。
地域に関わっている一員として思うことですが、地域にコミュニティ協議会が設置されているということで、市民との協働というより、行政は、地域にさまざまな業務を依頼し、任せ過ぎているような感じがしてなりません。その地域に住民が多くいれば対応も可能かもしれませんが、人口が少なく高齢者の占める割合が多い地域では動ける人も限られ、大きな負担となり重荷になっています。行政にはもっと地域を知っていただき、協働ということをもっと理解していただいたうえで、地域の活性化に向け地域市民との協働を図っていただきたいと思います。
地域の一員として積極的に地域活動に関わりたいとは思っていないが、市の職員として、積極的に関わるべきであるとは思っている。ボランティアとしてではなく、職務として地域活動に関わるという形はないのか。
市役所において「地域」の大切さをうたう一方で、その人財確保は他人任せのように感じて止まない。今地域にとって不足しているのは、現役世代の力です。市役所職員が業務に応じてもっと地域に溶け込み、地域団体のサポートをすることで、地域はより良いものになると思いますし、そういった過程を通じて施策は本当に地域にとって必要なものへと変わっていくのではないのでしょうか。
職員が地域の取組に参加することは、人間関係づくりも含めて円滑な業務を進めるためにも、非常に大事だと思う。ただ、過度な財政支援や行政からの働きかけによる地域活動の誘導は本末転倒だと思う。地域が自分たちで必要と思うことを自発的にやるのが自治の本旨であり、行政が過度に関わることで、逆に地域の力を奪うことになりかねない。
地域活動に少なからず関わり、直接的に住民の声を聴くことは大事であると思う。地域から、何かと発信することは大事であり、そこに市職員がかかわるべきだと思う。
地域活動への参加は市職員としての意識ではなく、地域の一員として参加している。そうでないと気軽に参加できない。
地域住民として活動に参加するのは良いと思うが、市職員という立場で地域の活動に参加すると、頼られたり便利に使ってくれるのは良いが、過度に世話をすることにより、役所的な運営方法や書類作成等を押しつけるようになり、地域の人材を育成することができなくなる可能性が高い。

昔に比べて、地域コミュニティ協議会、自治会が行政の下請け的な位置づけをされているように感じる。行政の役割の一部を任せるのであれば、運営の方法の指導のほか、無駄な書類の作成を強いている現状を、行政としても認識する必要がある。そうでないと、負担感のある自治会活動に参加する人はいなくなり、かえって将来の行政の負担は増えるのではないのでしょうか。

「高松市職員は、地域活動に理解がある人たちだ。」とか、「高松市職員になるなら、地域の活動をよく理解していなければ、なることができない。」と言われるくらい、職員の意識が向上した行政組織体となることを期待していますし、一高松市職員として、できる協力を惜しみなく貢献したいと思います。

## <その他>

平日頃より自治会には積極的に参加しています。自宅に高齢の親もいるため、万一の災害の折にはお世話になることも想定される。相互扶助の制度として大切にしていきたい。

相手のことを考え、相手を思いやる気持ちが薄れてきていると思います。  
人はこの世の中で共同生活を営んでいる以上、様々な人の立場を理解するよう努めることを意識的に心がけていく必要があると思います。

次世代の方々に対して、大学等の高等教育で地域コミュニティについての学びの機会を増やし、今後地域等で様々な立場で、リーダーシップを発揮してもらいたい。

過去に自治会をはじめ各種団体での役員等を経験しました。自治会やコミュニティ活動と仕事の両立は難しかったですが、長年関わったおかげで、現職の役員名も言えますし、それらの方と面識があることで、未だに各種の相談を受けております。

今年度自治会の班長をしている。何かと忙しいが、今までお世話になってきているので、退職後は、少しずつできることをしていきたい。

自治会活動は知らない人ばかりの中に、休日に出たりして億劫な時もあるが、人間関係が希薄になってきている今だからこそ参加しています。  
近所の方と顔見知りになり、気軽に声をかけて下さったり、良かったと思います。また災害時など、助け合うためにも、日ごろから参加することは大切だと思います。退職したら、地域のコミュニティ活動にも参加したいと思います。

市職員という立場を考えれば、地域活動には積極的に関わるべきなのは理解できるが、プライベートな領域になるので、活動に消極的な職員がいたとしても、責めることはできないと思う。実際、自分も付き合いや立場を考えて、義務感からやっている部分は大きい。

現在地域コミュニティは、65～80歳代の方たちの熱意が支えてくださっているように思えます。50歳代以下については、仕事が忙しいことなどの理由から、かかわりにくい事情もあるようです。

今後もっと活発に活動をしていくのであれば、30～50歳代が参画しやすいよう、時間外勤務を減らすなど、日本の働き方自体を見直す必要があるのではないのでしょうか。今のままでは後継者不足になっていくような気がします。

市の職員として、地域の活動は大事であり、地域のリーダー的存在になればいいが、在職中は難しいので、市のOBなどの方は積極的に活動に参加して欲しいし、退職後は私自身も積極的に活動していきたい。

社会全体的に他人とのつながりが希薄になっている中で、コミュニティは大切なものだと感じている。その最少単位が家族であり、その外側に地域があって、本来地域での生活は自分達で作り守っていくべきものだと思う。

とても大切に、億劫と感じながらも参加して達成すると、とても気持ちいいものである。

今年度、PTAで地区役員をしています。学校行事や地域の行事に携わってきて地域の方々とつながり、協働の大切さを実感しました。また、子供会行事にも役員として企画をしてきましたが、私の幼い頃より、子どもの人数も少なくなって、行事自体も簡素化されているのに驚きました。また、予定が合わず欠席される方も見られるのには、時代を感じました。これからも自治会行事には積極的に参加したいと思います。

子ども会などわずらわしいと参加を拒む人もいるが、見守り隊など地域の人がいるからこそ子どもたちの安全が守られていることもある。人間関係が希薄になっている時代だからこそ、地域の中で多様な人間関係のもと子育てできる環境が重要であると思う。

新規採用職員第Ⅱ部研修にてコミュニティ活動に昨年参加しました。  
地元自治会、コミュニティに関心が薄かった私ですが、研修を受けて見方が変わりました。  
今は一人暮らしで住居移転の可能性もありコミュニティには所属してないですが、定住することになったら自治会にも加入し、地域コミュニティ活動にも参加したいです。

あと十年足らずで定年退職を迎えることになるが、その後の生活において、今までの職歴の中で得られた知識や資格等を活用して、社会貢献できるような活動があれば、積極的に参加したいと考えている。

現実問題として、多くの職員が業務多忙により疲弊しており、コミュニティ活動に時間を割くことは、なかなか難しいと思います。もちろん、その中でも積極的に活動を行っている職員は存在すると思いますが、職員が主体的、継続的かつ広範にコミュニティ活動に参画するためには、ワークライフバランスを中心にライフスタイルそのものの抜本的改善が必要かと考えます。個人的には、リタイア後も地域に根差して生活していくためにも、何らかの形で少しずつでもコミュニティ活動を担いたいとは考えており、気軽に関われるような仕組みがあればよいと思うのですが。

※意見については、一部要約しております。